

製品名: CHOP ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21427**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | 組換えウサギモノクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG,Kappa |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。 |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質 |
| 精製 | プロテイン A |

応用

| | |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:1000-1:5000,IHC 1:1000-1:4000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200 |
| 分子量 | Calculated MW:19kD;Observed MW:30kD |

抗原情報

| | |
|--------------|------------------|
| 遺伝子名 | DDIT3 |
| 別名 | DDIT3 |
| 遺伝子 ID | 1649.0 |
| SwissProt ID | P35638 |
| 免疫原 | ヒト DDIT3 の合成ペプチド |

背景

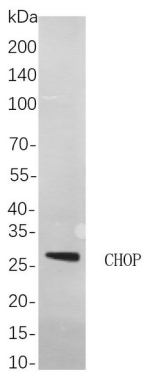
細胞局在: 細胞質、核。この遺伝子は、CCAAT/エンハンサー結合タンパク質 (C/EBP) ファミリーの転写因子をコードする。このタ

ンパク質は、C/EBP や LAP (肝活性化タンパク質) などの他の C/EBP メンバーとヘテロ二量体を形成し、それらの DNA 結合活性を阻害することで、ドミナントネガティブ阻害因子として機能する。このタンパク質は脂肪形成および赤血球生成に関与し、小胞体ストレスによって活性化され、アポトーシスを促進する。この遺伝子と 16 番染色体の FUS または 22 番染色体の EWSR1 との転座誘導融合は、粘液性脂肪肉腫またはユーイング肉腫においてキメラタンパク質を生成する。異なる長さの 2 つのアイソフォームをコードする複数の選択的スプライシング転写バリエーションが同定されている。[RefSeq 提供、2010 年 8 月]

研究分野

-

画像データ



C6 細胞ライセートのウェスタンブロット解析 (CHOP ウサギ mAb を使用)。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を使用した。